

のぞみ公報

共同作業所の遍歴

《作業所ニュース》より

長崎市のぞみ会
のぞみ共同作業所



のぞみ会10周年記念大会 (82年 県自治会館)



のぞみ会15周年大会にて (88年 県自治会館)



のぞみ会・座談会 (91年 市民会館)



家族会活動





のぞみ会20周年大会にて
全精連会長講演
(93年 長崎セントヒル)



のぞみ会20周年大会にて
在りし日の川崎ナオミ先生
(93年 長崎セントヒル)

金子県知事へ陳情
(98年10月 知事室にて)



(長崎県提供)

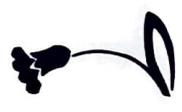




全家連
全国リハビリテーション会議
(89年 中野サンプラザ)



全家連全国大会
(90年 熊本) 分科会



林 宗義先生
(92年 東京ホテル浦島)



全国大会
研修会





九州ブロック家族会研修会
(94年一月 平成五年度沖縄大会にて)

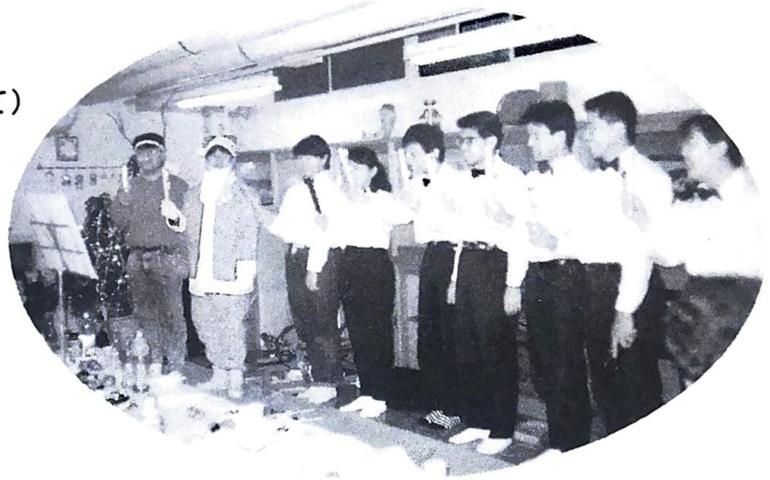


全家連全国家族大会
(98年 日本武道館)



全家連街頭キャンペーン九州ブロック
(98年 東京)

クリスマス会
(89年12月 作業所にて)

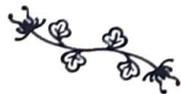


(長崎新聞より)



作業所活動 ユ一ザ一活動

作業所開設資金活動
(84年5月 中島川まつりバザー)



中島川ふくしまつりバザー
(91年5月 市民会館公園)





作業所開設一〇周年パーティー
(94年三月 市食堂にて)

第十一回県下デイケア運動会
(93年一〇月 諫早・運動公園サブグラウンド)



第2回九州ソフトボール大会にて
長崎チーム (98年 福岡)

はじめに

「のぞみ会」——長崎市精神障害者家族会（現・長崎市中央精神障害者家族会）は、一九七二（昭和四七）年十二月に発足しました。それ以来、毎月の例会で学習と親睦を深めるとともに、実践活動にも移りました。精神病患者の「野放し」記事に対する新聞社への抗議行動、「精神障害者福祉法制定」を求める陳情・請願等・社会的対外活動を展開してきました。

初代会長や精神保健関係者の素晴らしい指導者に恵まれた「のぞみ会」では、在宅精神障害者のリハビリテーション施設の設置を関係者へお願いしてきました。しかし、本県では一九七〇年代の地域精神衛生への試行は未だ機熟せず、八〇年代に入り、ようやく県に精神障害者社会復帰対策委員会が開かれ、その中に家族会からも参加することができました。それは、前年の職親制度見直し検討班会議に引き続き開かれましたので、八三（昭和五八）年のことでありました。

会員の要望により「共同作業所づくり」をめざしていた「のぞみ会」では、対策委員会のすすめもあり、会の創立十周年記念事業として、総会の決議により「作業所づくり」の計画をスタートすることに決定しました。そして準備段階を踏んで八四年の開設となりましたが、全国的にも未だ少ない精神障害者の社会復帰関係の施設のことですから、実際に運営する側の家族会の試行錯誤は云うまでありませんが、市、並びに県関係者の並々ならぬご支援があったことを忘れることはできません。

こうして、いつまで継続できるであろうかと、自他ともに心の中に案じながらも、強力な推進者のバックアップにより、運営に欠くことのできない公的補助金の交付を受けることになりました。おそらく、九州においても早い段階ではなかったかと思えます。この年（一九八七年）、国でも「精神保健法」への改正の目玉として、精神障害者小規模作業所運営助成金の交付が開始されるようになりました。のぞみ共同作業所の活動はいよいよ本格化することになりました。

お陰で、開所以来十六年を経過し、およそ一〇〇人の仲間の皆さんから利用していただきました。

「みんなで歩けば道になる」これは「全家連三〇年のあゆみ」のテーマです。家族の皆さん、家族会の皆さん、地域活動所（作業所）の皆さん、みんなで一緒に歩きましょう。

二〇〇〇年五月

高橋孝夫

目次

はじめに 1
のぞみ会のあゆみと活動

第一部 家族会活動 7

あゆみの概要

家族会の誕生から社会復帰活動へ

体験発表

一九七五年 日精看シンポジウム「これからの精神医療」 19

一九八七年 のぞみ会報十五周年記念号より「共同作業」 27

一九八六年 シンポジウム「共同作業所活動における親の役割」
精神衛生に関する陳情書 34

作業所補助金制度の確立について精神科医添書

第二部 共同作業所ニュースの変遷 39

一九八六年 NO. 1 昭和六一年度運営補助決定 42

一九八七年 NO. 2、NO. 5 運営補助金交付制度県議会を通過 45

精神障害者リハビリテーション全国研究会

一九八八年	NO. 6	のぞみ会創立十五周年記念研修大会 県共同募金より配分 新「精神保健法」施行 市保健所「家族教室」開始 長家連「十五周年記念大会」 市長陳情・朝日福祉助成金交付 のぞみ会運動目標「自立への支援」 県保健部との懇談会 長崎市回復者クラブ誕生 作業所実地研修	53
一九八九年	七月例会資料		55
一九九〇年	NO. 11	市長陳情・朝日福祉助成金交付	58
一九九一年	NO. 13	のぞみ会運動目標「自立への支援」 県保健部との懇談会 長崎市回復者クラブ誕生 作業所実地研修	61
一九九二年	NO. 23	精神保健法の見直しへ向けて 「もりまちハートセンター」と「売店・飲食コーナー」 作業所活動の一考察（その一〜五） 長崎ばってん倶楽部の活動・グループホーム 離島の精神保健活動 第二十五回全家連全国家族大会（東京） のぞみ会創立二十周年記念研修大会 「精神保健法見直し」の要点 精神障害者職業相談員の設置 長崎県精神障害者団体連合会結成大会 「グループホーム運営助成制度」の創設を県へ要望 家族会の法人化	78
一九九三年	NO. 37	NO. 56	105

一九九四年 NO. 57 \ NO. 63 「のぞみ共同作業所」十周年記念パーティー…………… 130

九州ブロック家族会・沖縄研修会

作業所の反省・千葉病院長仙波恒雄先生のお話から

レインボー会の誕生

長家連二十周年記念研修大会

一九九五年 NO. 68 \ NO. 70 精神保健法の改正案国会へ…………… 139

「精神障害者保健福祉手帳」の交付

レインボー会だより

一九九六年 NO. 71 \ NO. 76 長崎市障害者福祉の新長期行動計画…………… 143

一九九七年 NO. 77 \ NO. 85 ハローワークを訪ねて…………… 147

県連合会家族相談事業の実施へ

県連合会費の改正について

長崎県障害者プラン発表

第三十回全家連全国家族大会（大分）報告

一九九八年 NO. 87 \ NO. 89 交通費サービス実施…………… 151

長崎市地域精神保健福祉連絡協議会

家族会とエンパワーメント

九州ソフトボール大会へ参加

県知事へ陳情

一九九九年 NO. 94 国庫活性化資金交付…………… 156

交通運賃割引請願運動街頭活動

精神保健福祉法の改正

福祉法の新しい動き

第二部 資料編

一、のぞみ会年表	163
二、家族会運動の歩み（長家連・全家連各家族大会）	182
三、家族会研修会等の活動経過（全家連・九州ブロック）	184
あとがき	187